

(18)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表2001-501063

(P2001-501063A)

(43)公表日 平成13年1月23日(2001.1.23)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>H 04 L 1/00  
29/02

識別記号

F I

H 04 L 1/00  
13/00テマコト<sup>®</sup>(参考)

A

3 0 1 B

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 45 頁)

(21)出願番号 特願平10-515324  
 (86) (22)出願日 平成9年9月26日(1997.9.26)  
 (85)翻訳文提出日 平成11年3月29日(1999.3.29)  
 (86)国際出願番号 PCT/F I 97/00581  
 (87)国際公開番号 WO98/13965  
 (87)国際公開日 平成10年4月2日(1998.4.2)  
 (31)優先権主張番号 963870  
 (32)優先日 平成8年9月27日(1996.9.27)  
 (33)優先権主張国 フィンランド(F I)

(71)出願人 ノキア オーユーイー  
 フィンランド国, エフィーエン-00130  
 ヘルシンキ, エタレエスプラナディ 12  
 (72)発明者 シデーンマー, マッティ  
 フィンランド国, エフィーエン-33720  
 タンペレ, ラータボルク 1 ペー 24  
 (72)発明者 ベーネーネン, マウリ  
 フィンランド国, エフィーエン-33720  
 タンペレ, インシネーリンカトゥ 48 ア  
 - 23  
 (74)代理人 弁理士 石田 敏 (外4名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 デジタル音声受信機におけるエラー隠蔽

## (57)【要約】

デジタル音声受信機が、復号化とエラー隠蔽とのために、受信したフレームを一時的に記憶する。復号器内の再構成ブロック(14)が、最新の受信フレーム(+c n n x t)が未復号化のままである読出しウィンドウ(43)を使用して、記憶されたフレームを読み出す。現在フレーム(0)の正当性が検査され、考えられるエラーがウィンドウ内の他のフレームの対応するデータを使用して隠蔽されるように、復号化が行われる。エラーの検出は、チェックサム(19、26)と、上記フレームのある一定の部分内のビット組合せの許容値に基づいている。これに加えて、受信機は、信号のビットエラー率に関する推定値(60)を維持し、エラー隠蔽アルゴリズムの演算を制御するためにその推定値を使用する。

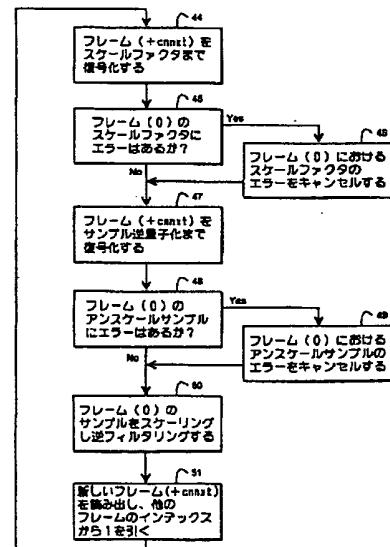


Fig. 6